

教育目標：なかまとともに、進んで学び、たくましく、思いやりのある子どもの育成

細野小学校
学校通信

桜の学び舎 細野小

令和3年度
第5号(7/21発行)

灯籠づくり・7月

文責：衛藤慎二

霧島岑神社の「六月燈」は、コロナ禍で今年も中止に！でも、灯籠は例年通り設置されます。そこで、細野まちづくり協議会が呼びかけて、たくさんの方々の絵が寄せられました。

子どもたちも昼休みに集まり、灯籠に絵を貼りつける作業を行いました。



宿泊学習（5年生）7/15・16

大変素晴らしい態度で2日間の日程を終えた5年生です。活動に臨む「み・い・け」の心構えや代表の児童の挨拶等、全ての面で素晴らしいかったです。御池青少年自然の家の渡邊所長より、最近施設を利用したどの団体よりも素晴らしい子供たちだと、お褒めの言葉をいただきました。

みんな仲良くチームワーク
(規律・協同・友愛・奉仕)
い
家の人の感謝の気持ち
け
計画的な行動(特に時間)





全校朝会（夏休み前）の話 7/21

34日間の夏休みを前に、子供たちに「壺の中に」という話をしました。

【話の概要】

- ① 壺いっぱいに『大きな石』を詰めた。
「この壺は満杯か？」
- ② 岩の間を砂利で埋めた。
「さあ、この壺は満杯か？」
- ③ 砂を岩と砂利の隙間に流し込んだ。
「この壺はこれで満杯か？」
- ④ 水を壺の縁までなみなみと注いだ。
「この壺は満杯で、何も入らないね。」

【子供たちに伝えたいこと】

- 何が言いたいのか分かる？
- どんなに時間が無い時も努力をすれば、予定を入れる事は可能だということ？
- なるほど、そういう考え方もあるけど、
大きな石を先に入れない限り、それが入る余地は、その後二度と無いということです。

『自分にとって一番大切なことは何か？』を考え、素晴らしい夏休みになるようにしてください。

